

一般質問

代表質問



越川 哲 議員

今後の整備事業について

Q 今後4年間の整備事業について、どのように考えているか。

A 市長 現在、それぞれの地域の拠点を、とくるところという方向性を示し、



整備後のイメージ

・駅舎上空から、駅前広場と南口線を中心に見た道路整備のみのイメージであり周辺建物は現況のままです。

成東駅前 整備のイメージ

各地域の整備事業を進めています。

成東地区では、駅の南側の整備を、県と協力しながら進めていきます。

松尾地区では、旧役場の跡地にぎわいを取り戻せるような施設を整備していきます。

蓮沼地区では、防災や地域の中心的なコミュニティの役割を果たし、観光にも資するという施設の建設を計画しています。

また、現在計画されています道路整備や、必要な教育施設の整備につきましましては、合併特例債を最大限活用しながら整備していきたいと思えます。

さんむ医療センターについて

Q さんむ医療センターには、中期目標と中期計画があるが、この2つはどのような関連になっているのか。

A 保健福祉部長 地方独立行政法人法の規定により、設立団体である

市が中期目標を指示し、さんむ医療センターがその中期目標を達成するため中期計画を定めます。第2期中期目標・中期計画は平成26年4月1日～平成29年3月31日の3年間となつていますが、議会の議決を経て

Q 保健福祉部長 第2期中期目標・中期計画につきましては、平成25年に審議いただき、全員賛成により可決いただきました。

Q 第2期中期目標・中期計画には、機能を発揮する手段として、ふさわしい施設整備及び移転を検討するとなつて

A 保健福祉部長 病院施設の整備は、地域内の高齢者人口の増加や総人口の減少など、医療ニーズを十分検討いたしました。将来にわたり存続可能な病院経営が必要であります。

Q さんむ医療センターの移転、建て替えについて、どのように考えているか。

A 市長 8年前の合併時に、市民は自分たちの市に病院は必要であるという、明確な判断を示しました。病院がある

Q さんむ医療センターは、ハード的に今の場所での増築や改修は非常に難しい状況にあり、老朽化もして

A 保健福祉部長 答申は、小・中学校の現状と将来推計、学校規模に起因する利点と課題、学校規模を検討する必要性、学校規模適正化の具体的方策など、8つの項目で構成されています。

Q 東千葉メディカルセンターとの連携は

しい施設整備を検討する段階にあると考えています。

Q さんむ医療センターの移転、建て替えについて、どのように考えているか。

A 市長 8年前の合併時に、市民は自分たちの市に病院は必要であるという、明確な判断を示しました。病院がある

Q 小・中学校の再編成について

A 教育委員会は、小・中学校の将来を展望した学校のあり方について、「学校のあり方検討委員会」に諮問した。この3月に答申されたと思うが、どのように

Q 教育委員長 答申は、小・中学校の現状と将来推計、学校規模に起因する利点と課題、学校規模を検討する必要性、学校規模適正化の具体的方策など、8つの項目で構成されています。

Q 市には、小学校が13校、中学校が6校ありますが、基準を満たしている学校は、成東小学校と成東東中学校の2校のみです。ほかは全て小規模に位置づけられます。

どのような問題や課題が指摘されており、市民アンケートの結果でも、学校規模の適正化を望む声が多くありました。

Q 今後の予定は、どのように

A 教育委員長 教育委員会ではこの答申を受け、「学校のあり方に関する基本方針」を策定するため、これまで3回の集中審議をおこなってきました。

Q 市は、教育委員会としての考え方をまとめ、市民への説明会で合意形成を図りながら、本年度中に基本方針を策定したいと考えています。

Q 市の基幹産業は農業といわれているが、農業世帯数と農産物の売上高はいくら

A 経済環境部長 市内の農家戸数は2千750戸、販売農家戸数は2千156戸、専業農